

# 2019年度 音楽会実施にあたって

～ごあいさつ～

## 「音楽会あいさつ」

校長 出野 卓也

本格的なホールで開催される附属平野小学校の音楽会も、今年で14回目を数えます。会場は昨年と同じくグランキューブ大阪のメインホールで、1階席2階席あわせると2千人以上収容する本格的なホールです。ここは大阪教育大学の卒業式でも使われるホールで、私もステージから客席を見ましたが、遠くまで客席が連なり、覆いかぶさってくるような気がするところでした。子どもたちにとって、このような大きなステージでご家族に見守られて演奏したり合唱したりすることは、大きなプレッシャーとともに誇らしさを感じることでしょう。さらにはそこにたどり着くまでの練習過程で様々な葛藤や大きな一体感を感じるなど、本当に得難い体験ができると思います。

今年の全校合唱曲は北尾美紀子さん作詞作曲の「仲間」という曲です。偶然に集まって仲間となった喜びと、仲間の大切さを歌った曲で、今回の音楽会のテーマでもあります。今、たまたま同じ小学校に通い、同じ学年やクラスに集まった仲間たちとともに一生懸命がんばっていて、その仲間たちとの絆を愛おしく思っている子どもたちの思いがよく表れていると思います。この音楽会が子どもたちのより一層の成長へとつながることを期待しています。

## 附属平野小学校の「仲間」と一緒に

副校長 四辻 伸吾

附属平野小学校の教育目標「ひとりで考え ひとと考え 最後までやりぬく子」には、「仲間」と一緒に様々な経験をしながら、自分自身を成長させていくことができる子どもたちに育ってほしいという願いがこめられています。「仲間」と一緒に活動することが自分自身を成長させることにつながれば、そこには「仲間」への感謝の気持ちを生まれるでしょう。

今回の音楽会のテーマは「なかまと つくろう！ みんなに ありがとう！」です。これまで子どもたちは各学年のコンセプト・テーマに基づいて、演奏や合唱の練習に取り組んできました。

本校の音楽会では、「グランキューブ大阪」という「本物の舞台」での発表の場そのもの以上に、音楽会に向かって子どもたちが努力し、創意工夫をし続ける「過程」を重視しています。練習をする過程において子どもたちは、自分のパートの演奏がうまくいかないことや、友だちと意見が合わないこと、演奏の音がそろわないことなど様々な困難を経験します。それらの困難を「ほんの少しの工夫」「友だちとのほん少しの協力」の積み重ねで子どもたちは乗り越えていきます。これらの過程が子どもたちの大きな成長へとつなげていくことでしょう。

子どもたちが「なかまと つくろう！ みんなに ありがとう！」というテーマに基づいて素敵な音楽会を作ることができるよう、教職員一同取り組みたいと考えております。ご家庭でも共感、励まし、賞賛、助言など、お願いいたします。

## 音楽担当より♪

「子どもたちに本物の舞台を経験してほしい」という思いで音楽会の会場を学校の外に移してから15年目となりました。このような大きな舞台で、日々の音楽の学習の成果を見ていただけることにつきまして、保護者の皆様をはじめ、たくさんの方々に感謝申し上げます。

本年度のテーマは「なかまをつくろう！みんなにありがとう！」です。本年度は、このテーマの通り、音楽会をこの会場にいるみんなで音楽を奏で、みんなが共に楽しめる会になるようにと、様々な工夫を取り入れて、音楽会を創り上げていきます。オープニング全校合唱曲《はばたけこどもたち》では、本校の皆がよく知っている歴史あるこの歌を歌って、会場皆が一つとなり、音楽会を始めます。音楽会半ばでは、本年度初の取り組みで、コール・モモさんと共に本校教員も音楽を奏でることにチャレンジします。エンディングの全校合唱曲《仲間》では、会場全体で声も心も一つにして、温かい歌声でホールをいっぱいになりたいと思います。「偶然に私たちは集まり同じ時を過ごし仲間となった」「仲間というのがこんなにもあたたかいなんて知らなかった」「みんなに出会えてよかった」とあるように、仲間の大切さを感じながら、共に集う仲間たちと心を込めて歌うことができればと思います。

この音楽会に向けて、子どもたちは、各学年での練習を積み重ねてきました。学年練習ではみんなで合わせられるようにとお互いに教えあったり、また、学年練習にむけて個々人が休み時間や家庭で練習してきたりと「せいいっぱい」取り組む姿が見られます。本日の音楽会では、輝く子どもたちの姿から、その過程までもきつ保護者の皆様を感じていただくことができると思います。保護者の皆様も、ぜひ子どもたちと一緒に《はばたけこどもたち》《仲間》を歌ってあげてください。

本校の音楽会は、普段の学習で培ってきた力や、感じてきた音楽の楽しさ・よさを発表する場です。低学年は「わらべうたをみんなと合わせて歌い、遊ぶ楽しさ」、中学年は、「楽器を用いてみんなと合わせて表現することの楽しさ」、高学年は、「1人ひとりが役割を受けもち、責任感や思いやりをもってみんなと表現を創り上げていく楽しさ」を感じ、それが聴き手に伝わるような演奏ができるよう、練習を積み重ねてきました。その中では、音楽の力だけではなく、一所懸命に取り組む態度や集団の一員として仲間と協力する姿勢、最後までやりきる力などの様々な力が育まれてきていると考えています。中には、なかなか思うようにいかなくて、大変な努力を続けてきた子もたくさんいます。どの子も、音楽会が終わった後、「最後までやりきった」「自分の力を出し切れた」といった満足感や達成感をもつことができるような音楽会になれば、と思っています。

音楽会当日は、子どもたちがこれまでのお互いの成果を聴き合い、それぞれの学年のよさを感じる場となります。下級生の演奏を聴くことで自分たちの歩んできた道筋を思い出したり、上級生の演奏を聴くことでこれからの自分たちの姿に希望をふくらませたりする場にもなるでしょう。同時に、保護者の皆様にも、子どもたちの学習の成果や成長を感じながらお楽しみいただければと思います。一所懸命に取り組む子どもたちの姿をあたたかく見守ってあげてください。

子どもたち、保護者の皆様方、教員たち、グランキューブに集まる仲間たち皆で、全身で音楽を感じ、心から音楽を楽しめる、あたたかくて素敵な音楽会を創り上げていきたいと思っています。皆様ご協力よろしく願いいたします。